

さくっと

テーマ

Society5.0



「さくっと」とは？

興味のある分野について、さくさくと勉強が進むように作成された調べ方ガイド(パスファインダー)です。みなさんの学習支援を行う図書館学生サポーターが作成しました。

ぜひ学習の際に参考にしてください。

図書館学生サポーター 林

1. はじめに

2016年1月に内閣府がSociety5.0という計画を発表しました。これは第5期科学技術基本計画のひとつであり、アベノミクス第三の矢である「成長戦略」において重要な役割を担っています。

ですが、認知度はあまり高くなく、現段階でも結局どのような政策なのか分かっていない方が多いと思います。今回はそんなSociety5.0について、解説および書籍やサイトの紹介をしていきたいと思います。

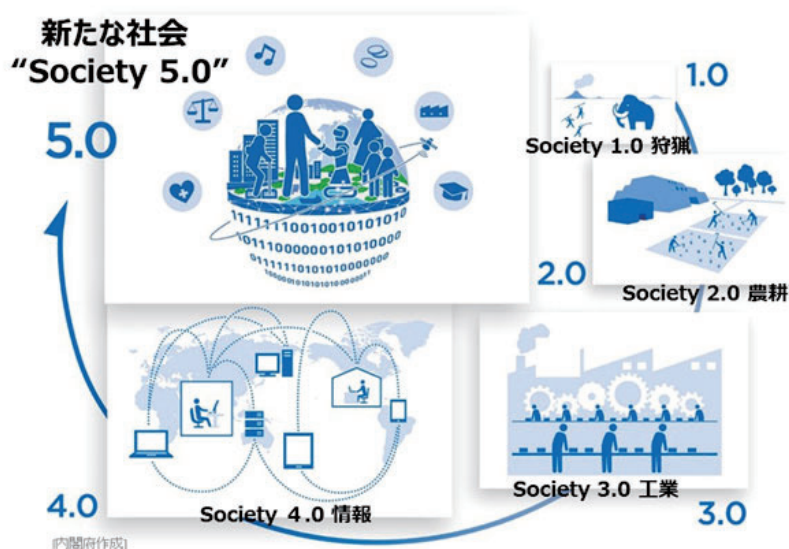
- テーマに関するキーワード

Society5.0、科学技術基本法、SDGs、IoT (Internet of things)、AI、ロボット、ビッグデータ

2. Society5.0とは

Society5.0とは、日本の内閣府が提唱する未来社会のコンセプトのことで、「仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」と定義されています。狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く新たな社会を指すものです。

Society5.0で実現する社会は、これまでの情報社会(Society4.0)で不十分であった①人とモノのつながり、②様々なニーズへの対応、③必要な情報を必要な時に提供すること、④自動化の促進、がAIやロボットなどの技術によって可能になり、経済発展と社会的課題の両方を解決することが出来るものであるとされています。また、このような社会は決してAIやロボットに支配され監視されるようなものではなく、あくまで人間中心の社会であると明記されています。



3. 具体的な事例

上記の説明だけではイメージしづらいと思うので、具体的にSociety5.0によってどんなことが可能になるのか、例を示します。

① 自宅で診察が受けられる

わざわざ遠い病院まで足を運ばずとも、タブレット端末などを使って自宅で診療を受けることができます。また、電子カルテを用いて医師同士の情報共有がしやすくなります。これにより患者と医師の両方の負担が軽減されるとともに、コストの削減にもつながります。

② 「スマート農業」の実現

農業用ロボットの自動走行やアシストスーツによって負担を軽減したり、農業経営や生産工程のシミュレーションを行い効率化を図るなど、賢く農業を行うことで農業従事者の減少・高齢化の対策になります。主に農林水産省によって進められているプログラムです。

③ 自動走行バスで過疎地の住民の移動手段を確保

乗車数が少なく採算が取れず、廃線になるバスが多い中、自動走行バスによって時間帯を問わず行きたい場所に気軽に移動することが出来ます。現在一部地域限定で試運転が行われており、2020年内にサービスの実現が目指されています。

上記の例以外にも多くの取り組みが産学連携でなされています。

4. 学習のために(おすすめの入門書)

『進化するデジタル経済とその先にあるSociety5.0』

総務省編

出版者:日経印刷

所在:飯塚分館 閲覧2階 学科選定図書

請求記号:690.5/Y-1/19



5. 最新動向をチェック

Society5.0の実現に向けた具体的な取り組みについて、詳しい内容がまとめられたものをいくつか紹介します。

- 石塚 直樹.スマート農業の目としてのリモートセンシング技術.農研機構研究報告. Vol.1, 2019,pp.61-66.
- 野崎 一徳.個別予測医療技術による歯科健康医療サービス.日本歯科保存学雑誌. 62(5), 2019,234-237.
- 「ぶらナルク」～Society5.0とSDGsの距離を縮める～.谷口 邦彦.国際P2M学会研究発表大会予稿集. Spring,2019,246-256.

Society5.0に関連した取り組みは本学でも行われています。例えば昨年10月には生命体工学研究科で「農業IoT実践ラボ」という講座が開講され、農業分野のAIの活用方法について現場の声を取り入れた講義を行っています。(URL:<https://www.enpit-everi.jp/activity/smartagriculture2019kouki/>)

6. 最後に

Society5.0の最終目標は少子高齢化・地域格差・貧富の差などの課題をIoTやAI、ロボットの技術によって解決することであり、変化し続ける現代社会においてより住みやすい社会を実現するための取り組みとなっています。2020年6月22日には理化学研究所の開発したスーパーコンピュータ「富岳」がコンピュータの性能を表す世界ランキング「Graph500」で世界第1位を獲得するなど、日本の情報技術は素晴らしく、それによってこれからの私たちの生活も豊かになっていくことが強く期待されています。少しでも情報化社会に興味を持たれている方は、ぜひSociety5.0がどのようなものなのか調べてみてください。

7. 参考サイト

- 内閣府HP-Society5.0
https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html
- 三菱電機ITソリューションズ-「Society5.0」とは？私達の暮らしや仕事はどう変わるのか？
https://www.mdsol.co.jp/column/column_123_1286.html
- OPTiM Cloud LoT OS-「Society5.0」はもう始まった？5分でわかる Society5.0の詳細と実現の具体例
<https://www.optim.cloud/blog/iot/society-5-0-real-world-examples/>
- 農林水産省HP-スマート農業の実現に向けた取組と今後の展開方向について
https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_event/attach/pdf/smaforum-28.pdf
- 株式会社フィックスターズ-スーパーコンピュータ「富岳」がGraph500において世界第1位を獲得
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000016.000027784.html>
- 【enPiT-everi 科目紹介】農業IoT実践ラボ ～ 近未来のAI農業 ～
<https://www.enpit-everi.jp/activity/smartagriculture2019kouki/>